

2018.10.01 (月)

川崎支部便り (定期便) (2018年第8号 10月号) 案

(オープンで各自が主役：川崎支部) 川崎支部支部長 赤津 武雄
(執筆者 河合・山岸)

川崎支部の皆さん、お元気でしょうか。

先月の川崎便りはお楽しみ頂けたでしょうか。今回は二ヶ領用水②についてです。気楽にお付き合い願います。

川崎点描 (二ヶ領用水のキーマン? ②)

例年4月上旬には台和町会のさくらまつりで屋台が出ます。台和町はどこか? 南武線の中之島駅から徒歩約15分で、ソメイヨシノが奇麗です。中之島駅(多摩警察署中野島交番と反対側)を川崎中野島郵便局に向かうと二ヶ領用水に突き当たるので、左折して暫く歩くと「台和橋」のレリーフが見えます。

二ヶ領用水建造の徳川家康に進言したのは、家臣小泉次太夫です(小泉進次郎ではありません。自民党の小泉進次郎の祖先かどうかはわかりません。あしからず)。ここは二ヶ領用水取水口「上河原堰(せき)」(二ヶ領用水の出発点)から下流に向かい約2kmの橋に有ります。もう一つの足跡は、世田谷区立次太夫堀公園で、小田急線成城学園前駅から徒歩約15分です。

多摩川の洪水で苦しむ川崎側と東京側の両地域の開削と新田開発を徳川家康に進言した小泉次太夫は「四ヶ領用水」開発の用水奉行に任命されました。川崎の二ヶ領とは川崎領(北東地域)と稲毛領(北西地域)で、東京側は世田谷領(北西地域)と六郷領(北東地域)で、400年前に世田谷や六郷の名称が有ったとは、驚きました。武蔵小杉の小杉陣屋町に、用水工事の為の陣屋を構えていました。

当時の工事は農作業の合間に鍬(くわ)、鋤(すき)で土を掘り、モッコ(藁蓆(わらむしろ)等平面の四隅に吊り綱を2本付けた形状の運搬用具)で運びました。この工事を約14年間も続いた辛抱強さには驚きます。東京側の工事と川崎側の工事は3ヶ月交代なので、測量時には大木や寺院・神社等の障害物で、迂回しながらの進捗が目に見えます。真直ぐな用水は難しかったでしょう。この、東京側・川崎側の交代工事は、「双子の用水」と呼ばれていました。(双子→二子玉川ではありません。)

関ヶ原の戦い(1600年10月)が有った3年前の1597年(慶長2年)、詰り今から421年前に測量が始められ、その2年後には開削工事に取り掛かりました。完成は測量開始から14年後の1611年(慶長16年)です。現在のJR南武線の沿線地域は、この完成により農村地帯として、新田開発と相まって大いに発展しました。

この 1611 年の完成で、流域の水田に定期的に水が供給され、新田開発が促進しました。稲毛・川崎領流域で栽培された「稲毛米」は徳川将軍家に献上されました。二ヶ領用水の完成で、江戸住民の米、野菜、果物、塩等の安定供給に川崎は貢献したのです。

しかし新田開発面積が多くなると、取水口が宿河原堰一カ所では賄いきれなくなり、1690 年（元禄 3 年）に上流の菅村の野戸呂島から第二の取水口を設けました。毎年の様に取水口を使用したので破損がひどくなり、東京の六郷用水（次太夫堀）の完成 100 年後には、田中休愚（きゅうぐ）が行った改修工事に合わせて、北多摩群布田小島の僻地から取水出来る様に改修したのが現在の「上河原堰」です。

この二ヶ領用水と東京川の用水計画を決断した徳川家康は、関ヶ原の戦いの 3 年前に家臣小泉次太夫の進言を受け入れ、豊臣家臣まとめ役の石田三成や豊臣家恩顧の大名達には、天下取りの強い信念と自信が開削工事の取止めをしていないことで判ります。徳川家康が早くから多くの大名の取込み戦略が突出していたのでしょうか。徳川家康の強い信念が、東京を誕生させたのでしょうか。

多摩川を見渡して下さい。対岸は東京都市大学世田谷キャンパスが見えます。地名は世田谷区玉堤ですが、多摩川を上流に進むと等々力キャンパスが目に入ります。所在地は世田谷区等々力となり、多摩川を挟んで川崎市側と東京側両方に「等々力」の地名が残っています。この多摩川は現在の第三京浜道路の辺りまでは、縄文時代前期（約 6000 年前）頃は海と思われ、多摩川が海に流れ込んだ所が現在の等々力付近でしょう。現在の地形を見ると、堆積土が膨らみ多摩川が中原区側に大きく入り組んでいたのでしょうか。

ところで、国木田独歩（1871～1908 年）をご存知でしょうか。著書「忘れえぬ人々」の冒頭に、こうあります。「多摩川の二子（ふたこ）の渡しをわたって少しばかり行くと溝口（みぞのくち）という宿場がある。その中ほどに亀屋という旅人宿（はたごや）がある。」描かれているのは、現在の東京都世田谷区から多摩川を渡った神奈川県川崎市高津区で、大山街道が通っています。独歩は渋谷に住み、近くに暮らす柳田国男（1875～1962 年）から亀屋のことを聞いたようです。当時、溝口は風光明媚、独歩の目にも新鮮に映ったのでしょうか。

（参考資料）川崎市教育委員会発行資料、川崎市建設緑政局計画部企画課発行資料、川崎市ホームページ、東京都市大学夢キャンパス事務局
（二ヶ領上河原堰へのアクセス）JR 南武線中之島駅から徒歩約 20 分

POINT： 世田谷キャンパスの裏門の前（角のレストランの前）の用水は、東京側の二ヶ領用水で次太夫堀とも言います。今回の調査で、初めて知りました。以前の巨人軍の練習場より川下のダム近くで多摩川に戻っていますが、江戸時代にはもっと川下の大田区迄有りました。

ほとんどの卒業生や在学生も知らないのではないのでしょうか。



(国木田独歩碑)



(ニヶ領上河原堰提)

川崎支部の活動

- ・2018.08.25（土）は幹事会を開催し、今後の講演会の運営の協議をしました。外部からの参加者を考え、二子玉川のライズ様の HP への行事や講演会のお知らせ文掲載や近隣にお知らせ文の掲示をすることになります。
- ・2018.09.22（土）は残暑が残る日和でしたが、多くの方がミステリーツアー（参加費無料）に参加して頂き、「ちい散歩」を楽しみました。（場所は当日お知らせしました。）

耳寄り情報

- ・善光寺の元住職が書いた「つもり違い 12 か条」。

子供の頃、50 歳以上はおじいちゃんでした。でも、今は働き盛りですね。先日、おもしろいものを見つけました。善光寺の元住職が書いた「つもり違い 12 か条」です。思わずドキッとします。

- ① 「高いつもりで低いのが教養」
- ② 「低いつもりで高いのが気位」
- ③ 深いつもりで浅いのが知恵
- ④ 「浅いつもりで深いのが欲望」
- ⑤ 「厚いつもりで薄いのが友情」
- ⑥ 「薄いつもりで厚いのが面皮」
- ⑦ 「強いつもりで弱いのが根性」
- ⑧ 「弱いつもりで強いのが自我」
- ⑨ 「多いつもりで少ないのが分別」
- ⑩ 「少ないつもりで多いのが無駄」
- ⑪ 「長いつもりで短いのが青春」
- ⑫ 「短いつもりでないのが老後」

どうですか、心に沁みませんか。耳が痛い。

皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。（連絡先：k.yamagishi@6kou.co.jp 山岸宛（窓口））